

# 新しい支援のかたちを考える ワークショップ

～「災害支援そなえ令和基金」を持続可能な取り組みにするために～

JVOADは、いざというときに対応できる、それぞれの地域にあったネットワーク作りを、普段から応援する仕組みとして、「災害支援そなえ令和基金」を創設しました。

どこで災害がおきても必要な支援が届く社会を目指し、地域のネットワーク作りを応援するために、本基金を持続可能なものにする必要があります。本ワークショップでは、企業の皆様との継続的な対話の場を作り、多様な視点で、多くのアイデアを出し合い、ともに、新しい支援のかたちを作っていきたいと考えています。

企業の皆様も、災害による社会課題を解決する一員として、ぜひ、ご参加ください！

■ 開催日時:1月20日(木)15時～17時

■ 開催場所:ヤフー株式会社 東京都千代田区紀尾井町1-3

東京ガーデンテラス紀尾井町紀尾井タワー  
セミナールーム

■ プログラム(予定)

15:00 - 15:30 企業とNPOのさらなる連携を目指して

- ・企業による被災地支援の変遷
- ・災害時の支援調整と平時の「そなえ」への理解を深める

15:30 - 15:40 被災地での支援課題を知る

15:40 - 17:00 グループごとのアイデアだしと共有

\*参加者の皆様の目指す社会の実現に向けた課題も共有しながら、意見交換させていただきます。

■ 対象者: 企業の方、30名程度 参加費:無料

■ 申込方法:以下、お申込みフォームにご記入ください。

<https://forms.gle/gsZ4Ga2muRFZga626>

■ 申込締切 2021年1月16日

※フォームがご利用いただけない方は、メールにてお名前、ご所属、電話番号を明記の上、以下のアドレスまでご連絡ください。

[sonae-kikin@jvoad.jp](mailto:sonae-kikin@jvoad.jp)

※会社の規程上、会場への参加が難しい場合は、事務局までご相談ください。

※皆様と対面形式でのワークショップを予定しておりますが、コロナの状況を鑑み、オンラインでの開催に変更する場合もある事、ご了承ください。





## 災害支援そなえ令和基金とは

避難生活での安心安全な暮らしをささえる、被災したすまいを再建する、地域コミュニティを再構築するためには、官民が力を合わせ取り組むことが不可欠です。JVOADは、平時から災害支援の担い手を地域に育成し、専門的な能力を高め、それらの地域資源が効果的に力を発揮できるような、支援のコーディネーションの仕組みづくりに取り組んでいます。しかしながら、平時の取り組みについては、持続可能な資金の確保が難しいことなどから、十分な「そなえ」の活動が進められない現状がありました。

JVOADは設立から5年目の節目にあたる2021年11月1日、災害支援の「そなえ」に対する取り組みに対し、全国から応援できる仕組みとして「災害支援そなえ令和基金」を創設しました。様々なかたちで、この基金を応援していただくことで、平時から全国各地での「そなえ」を充実させ、市民による持続可能な災害支援のたすけ合いの仕組みをつくりまします。



## JVOADについて

JVOADは、東日本大震災での経験を踏まえ設立した組織です。2016年11月に法人化、2019年12月には認定NPO法人として認定されました。準備会の段階であった2015年関東・東北豪雨では官民連携の萌芽的な取り組みに尽力し、2016年熊本地震以降は、大規模災害が発生する度に現地に入り、支援活動を行っています。被災地では地域、分野、セクターを超えた関係者同士の「連携の促進」「支援環境の整備」「支援者間の調整(コーディネーション)」の実践に取り組んでいます。私たちはこの活動を通じて将来の災害に対する脆弱性を軽減することに貢献します。

名称: 特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(通称: JVOAD)

所在地: 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル267-B

設立: 2016年11月1日NPO法人認証(2019年12月9日認定NPO法人取得)

- 代表理事: 栗田暢之 / 事務局長: 明城徹也
- JVOADホームページ: <http://jvoad.jp/>

### 【ワークショップに関するお問い合わせ・ご連絡先】

特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

災害支援そなえ令和基金 担当 神元・小竹(しの)

電話: 080-5961-9213 E-mail: sonae-kikin@jvoad.jp